

福祉だより

ふれあひ

夏号

発行

社会福祉法人
松崎町社会福祉協議会

松崎町宮内272-2
TEL 42-2719

—第163号—

平成28年6月30日



給食サービスボランティア募集

社会福祉協議会では、町内に在住している概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に、毎月1回お弁当をご自宅までお届けしております。

お弁当作りから配食に至るまで、町内のボランティアグループや民生委員さんのご協力をいただいております。

中川地区で活動するボランティアグループで、調理や配達を一緒して下さる方を募集しています。

ボランティアグループ 野ぎくの会

活動地区：中川地区

活動日：毎月第4土曜日（変更の場合あり）

（合あり）

活動時間：正午から午後2時まで

その他：ボランティア活動保険に加入します

また、野ぎくの会は、中川地区サロンの運営もしていただいております。

中川サロンは地域高齢者を対象に、唱歌や健康体操、輪投げなど参加者全員で楽しい時間を共有する集まりで、下記のとおり開催しています。

開催場所：旧中川小学校2階

開催日：第3土曜日（変更の場合あり）

開催時間：午後1時30分から午後3時まで

ご興味のある方は、ぜひ一度中川サロンにお越しください。

ボランティアについてのお問合せ、お申し込みは、社会福祉協議会（☎42-2719）までご連絡ください。

松崎町も高齢化が進み、ボランティア給食の需要が高まっています。ぜひ地域のみなさまのご協力を、お願いいたします。

平成27年度事業報告

松崎町社会福祉協議会では、地域福祉及び在宅福祉を中心に福祉向上に努めました。

【法人運営事業】

- ① 法人の運営に関する会議（理事会・評議員会・監査会）の運営
- ② 経理関係事務
- ③ 職員資質向上のための研修実施
- ④ 福祉団体の事務受託

【地域福祉事業】

- ① ふれあい広場の開催
- ② 各地区サロンの実施
- ③ ワークショップ・マナと園児たちのふれあい福祉体験交流
- ④ ボランティアとなる地域の人材活動支援事業
- ⑤ 災害ボランティア支援センターの設置・運営のための準備
- ⑥ 予防福祉事業
- ⑦ H & H 事業

【在宅福祉事業】

- ① ボランティア給食及び訪問給食等受託事業
- ② 在宅介護者の集いの実施
- ③ 福祉用具貸出等

【福祉総合相談事業】

- ① 福祉総合相談事業の実施

② 日常生活自立支援事業の実施

【福祉サービス利用援助事業】

- ① 生活困窮者自立支援事業の実施
- ② 緊急支援が必要な方への食品提供（フードバンクふじのくに）

【生活福祉資金貸付事業】

生活福祉資金等の貸付相談及び申請業務等の窓口業務の実施

【指定管理業務委託事業】

総合福祉センターの会館保守点検等の管理業務

【その他】

社会福祉大会の開催や、民生委員児童委員との連携及び地域の福祉ニーズの把握、共同募金配分金事業としては歳末援護金配布、福祉団体支援の実施などを行うことができました。皆さまからお寄せいただいた会費をはじめ、赤い羽根共同募金の配分金などが重要な財源となり福祉活動を行っております。ご支援とご協力を、ありがとうございました。

■ 会計収支決算の状況 ■

(平成28年3月31日現在)

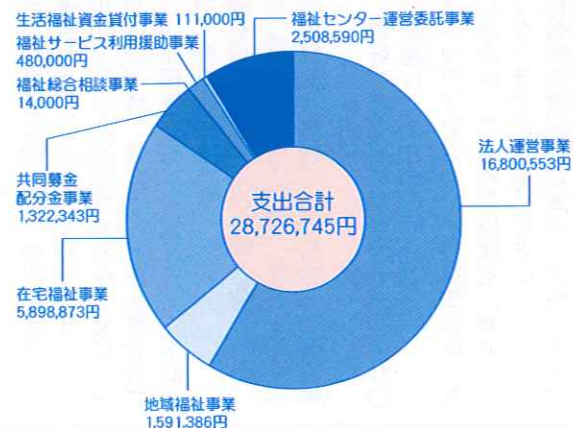
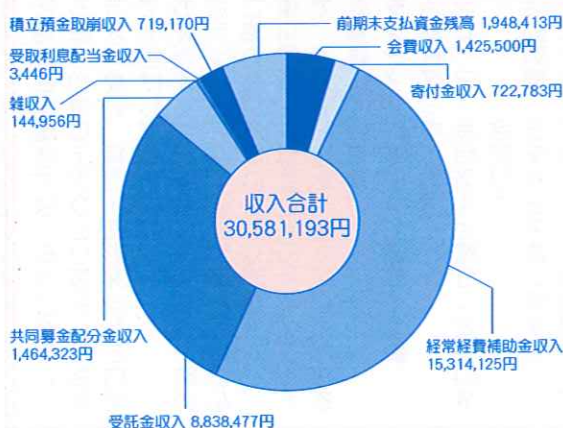
収入合計	30,581,193円
支出合計	28,726,745円
差引残額	1,854,448円

平成28年度へ繰越

みなさまからお寄せいただいた会費や寄付金等の貴重な資金は、以下のとおり地域福祉の推進のために使いました。今後とも、みなさまのご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

平成27年度一般会計決算報告

資金収支の内訳



平成28年度事業計画

松崎町社会福祉協議会では「いつでも安心して暮らせるまちづくり」をテーマに、今年度も「住民参加による地域福祉社会」構築に努めます。

【重点目標】

- 一、子どもたちに社会福祉の心を育て福祉教育の充実をはかること
- 二、ボランティア活動の促進と社会福祉の理解を得ること
- 三、地域にある社会福祉施設との交流を深めること
- 四、社会福祉協議会が地域に十分な奉仕ができる態勢を整えること
- 五、社会福祉の働きが全ての人のものとなること

【事業の内容】

すべての人が住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるよう、住民・地域と連携しながら共に支え合う地域づくりを目指すために、以下のそれぞれの事業を推進していきます。

○地域福祉事業

ふれあい事業・地区サロン事業・福祉教育事業・ボランティア事業・予防福祉事業・私たちのまちづくり事業・福祉団体等支援

○在宅福祉事業
在宅支援事業・給食サービス事業等

また、この他にも社会福祉活動のPR活動として広報誌「ふれあい」の発行、赤い羽根共同募金運動や歳末たすけあい運動、生活福祉資金の貸付償還業務等事務手続き、福祉サービス利用援助事業、地域福祉権利擁護事業や、困りごとの相談業務の窓口として行っている福祉総合相談事業などの実施を予定しています。
今年度もみなさまのお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。



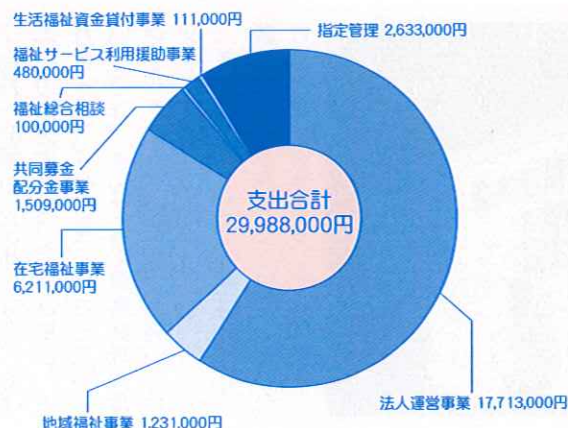
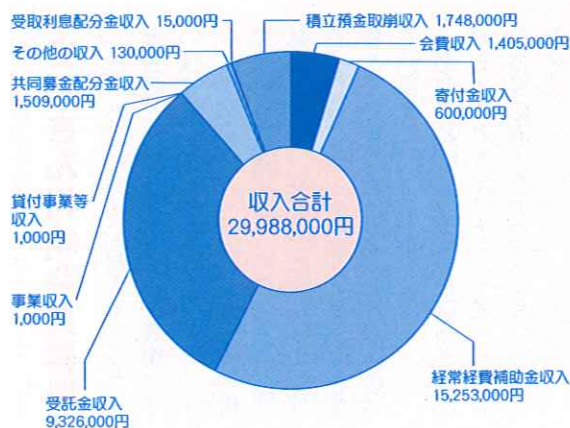
地区サロンのようす

■ 会計収支予算の状況 ■

収入合計	29,988,000円
支出合計	29,988,000円
差引残額	0円

事業計画に基づく予算を次のとおりとし、安心して暮らせる福祉のまちづくりに努めます。

資金収支の内訳



平成28年度一般会計予算



スポーツ吹矢教室の参加者募集



介護予防事業の一環として、スポーツ吹矢教室を開催します。スポーツ吹矢は、5～10メートル先の的にむかって矢を放ち、その得点を競います。年齢・性別を問わず、誰でも楽しみながら参加できるスポーツです。

次のとおり参加者を募集しますので、社会福祉協議会までお申込み下さい。

【開催日時】 平成28年7月から平成29年2月までの第4日曜日（全8回） 午前10時から正午まで
〈9月は11日（日）、11月は23日（水祝）に開催〉

【講師】 日本スポーツ吹矢協会公認指導員

【募集人数】 20名（定員を超える場合は、初めての方を優先します。）

【対象者】 65歳以上の松崎町民 【参加費】 無料

【申し込み】 7月12日（火）までに社会福祉協議会へお電話下さい。

○フードバンクふじのくからのお願い○

企業や家庭で余った食料を、必要とする人に無償で配給するNPO法人「フードバンクふじのく」の発足から2年が過ぎ、これまでに多くの食料が配給されましたが、認知度向上とともに需要は高まる一方で。生活困窮者自立支援法が施行され、支援要請も相次いでおり、食料の確保のために食品の個人寄付を受け付けています。多様となっているニーズに対応するために様々な食品を募集していますので、寄付へのご協力をお願いします。

【募集期間】 8月1日から31日まで 8時30分から17時まで（土・日曜日・祝祭日は施設休館日）

【回収場所】 松崎町役場・松崎町総合福祉センター

【寄付してほしい食品】

米（精米していないもので結構です）・乾麺類・小麦粉・保存食品（缶詰・瓶詰・レトルト食品・インスタント食品）・調味料・飲料（ジュース・コーヒー等）・贈答品等で常温保存ができるもの。

【条 件】

- ①賞味期限が1ヶ月以上あるもの
- ②賞味期限が明記されているもの（お米は常識の範囲内で古くないもの）
- ③未開封であるもの
- ④破損で中身が出ていないもの

みなさまよりご提供いただきました食品は、行政や社協等を通じて必要とされる方に提供されます。



また、老人クラブの無い地区で、新たにクラブを立ち上げたいという方のご連絡もお待ちしております。

お問い合わせは、各地区老人クラブ会長へお願いします。なお、お住まいの地区に老人クラブが無い、誰が老人クラブの会長かわからないという方は、さんさん松崎事務局（電話：4212719）までお問い合わせ下さい。

また、老人クラブの無い地区で、新たにクラブを立ち上げたいという方のご連絡もお待ちしております。

お問い合わせは、各地区老人クラブ会長へお願いします。なお、お住まいの地区に老人クラブが無い、誰が老人クラブの会長かわからないという方は、さんさん松崎事務局（電話：4212719）までお問い合わせ下さい。

また、老人クラブの無い地区で、新たにクラブを立ち上げたいという方のご連絡もお待ちしております。

さんさん松崎会員募集

平成28年熊本地震義援金

平成28年4月14日の熊本地方を震源とする地震により、熊本県、大分県各地において人的被害をはじめ家屋の倒壊等甚大な被害が発生しています。

社会福祉協議会では、中央共同募金会を通じて被災2県の被災された方々へ支援することを目的に、義援金の受付をしています。

お預かりした義援金は全額、義援金募集をしている被災2県に被災状況に応じて按分の上送金され、配分基準に基づき各市町を通じて被災者に配分されます。

詳しくは、社会福祉協議会までお問い合わせください。

6月13日現在お預かりした義援金は224,360円です。ご協力を、ありがとうございました。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成28年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

補償金額 (保険金額)

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額 (保険金額) に同じ	
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円 (限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)	

年間保険料 (1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
基本タイプ(※) (基本タイプ+地震・火災・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

(※) 天災タイプでは天災、(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保保持条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

男の料理教室

Let's have a delicious time!

予防福祉講座

参加者
大募集

どうも調理は苦手…という男性諸氏。そんなあなたを歓迎する男の料理教室です。料理が好きな男性、食べることの大好きな男性、どなたでも大歓迎です!おいしい料理と一緒に作りましょう。

食べることは、自分の体を作る生涯の楽しみだと思いませんか?ぜひお気軽にご参加ください!

開催日: 7月22日(金)午後2時~午後5時

対象: 町内在住の男性 募集: 15名

会場: 松崎町環境改善センター調理室

参加費: 500円 ※エプロンをご持参ください

申込み: 松崎町社会福祉協議会 (☎42-2719) まで

「聡明な女は料理がうまい」という桐島洋子さんの本に「料理ってのは本質的に男性的な仕事」とあります。理想の料理人の条件は「果敢な決断力と実行力」「大胆かつ柔軟な発想」「機敏な運動神経」そして「ゆたかな包容力」など…。まさに、男の中の男とたたえられる人物が持つ資質です。料理は創意工夫の表現です。「男子厨房に入らず」ではなく、男性こそが料理に向いているのではないのでしょうか。

あたたかい善意を
ありがとうございました

社会福祉協議会への寄付

(3月1日から5月末日まで)

〔一般寄付金〕

鈴木義弘様
船津好彦様
親和会様
匿名：4件

松崎町善意銀行への寄付

(3月1日から5月末日まで)

〔お茶の葉〕

石田京子様 (野ぎくの会指定寄付)

〔チャイルドシート〕

斉藤与志之様

〔使用済み切手〕

石田節子様、斉藤和敏様、長倉千波様、
レストランいさく様、レディース白
百合童謡の会様、松崎町役場様他匿名
2名

使用済み切手は、誕生日ありがとう
運動本部において切手コレクションセッ
トとして販売され、知的障害者のため
の社会啓発活動に活用されています。

〔ベルマーク〕

福島幸延様他匿名1名

〔ブルタブ寄付〕

池田とき江様、石田節子様、菊池洋一

郎様、佐藤かね子様、鈴木泰子様、長
倉千波様、藤池玉枝様、山本喜一様、
マックスバリュ松崎店様、レストラン
いさく様、門野区様、指川区様、山
口おしゃべり会様、松崎町役場様他匿
名4名

ブルタブは慈善団体に送り、800
kgで車椅子1台に交換してもらえます。

〔ポリキャップ寄付〕

朝賀清様、市川原弘様、一瀬洋策様、
菊池洋一郎様、斉藤和敏様、長倉かよ
子様、馬場立夫様、藤池てる子様、山
本喜一様、一仙様、レストランいさ
く様、門野区様、指川区様他匿名6名
ポリキャップはマックスバリュ松崎
店にて「ペットボトルキャップで世界
のこともたちに笑顔を!!」キャンペー
ンに活用してもらいます。
多くの方のご協力に感謝いたします。
ありがとうございました。

まちがいさがし

★5つのまちがいをさがしてね★



こたえは紙面のどこかに

在宅介護者の集い

在宅介護者の集いは、在宅で介護や看護を担う家族のストレスや孤立
感の軽減を目的に、開催しています。

対象は、町内でご家族等を介護されている方です。介護の悩みや不安
など同じ思いを抱える仲間と、情報交換や専門家のアドバイスを受けな
がら、気軽に気分転換ができる集まりをめざし、開催しています。

在宅でご家族等を介護されているみなさん、気分転換にぜひお気軽に
ご参加ください。

開催日、内容などについては、社協 (☎42-2719) までお問い合わせ
ください。

社協田んぼの田植え

社会福祉協議会では、毎年田んぼ
をお借りして、ふれあい広場で餅ま
きに使うもち米を作っています。

もち米を育てるには、稲の世話だ
けでなく田んぼの整備、水の調整、
草取り等々、たくさんの手間が必要
ですが、ふる里を想う会の方々はは
じめ地域のみなさんの支えで収穫す
ることができています。

田植えと稲刈りへは、毎年みどりの
少年団のみなさんも参加していて、
今年の田植えにも賑やかに参加いた
だきました。

小さく弱々しく見える苗が、暑い
夏を経て秋を迎えると、たくさんの
実りを付ける大きな株になり、おい
しいお餅になります。

みなさんの善意がたくさんこもつ
た社会福祉協議会の田んぼは、子ど
も達に負けぬ成長で、青空にぐんぐ
ん丈を伸ばしています。

秋に実ったもち米で作るふれあい
広場での投げ餅を、ぜひご期待くだ
さい。



かわいい苗がきれいに植まりました